

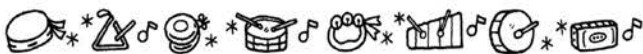


2023年度 旭丘まぶね保育園



氷できるかな？

砂場の玩具の中に溜まっていた水が氷に変身しているのを発見し興味津々で見ている子どもたち。お部屋や園庭、中庭、グラウンドの滑り台の上など、子どもたちと一緒に氷ができそうな場所を考えてみました。翌日は氷はできていませんでした。「もっと寒くなって風がビューンとふいたらできるかな？」と少し残念そうにしていました。その次の日、グラウンドに置いていたカップに氷ができていたのです。みんなで触って「冷たいー！」と喜んでいました。お部屋に持ち帰り、お迎えの時にみてもらう！と言っていましたが、お部屋に持って帰るとすぐに溶けてしまいました。何で溶けたの？お部屋温かいからかな？とみんなで考えていました。



♪発表会頑張ったね♪

ゆりぐみ最後の大きな行事“発表会”では、子どもたちの成長を感じて頂けたと思います。特におおすびころりの劇は、絵本を読むと場面に合った歌を自然に歌い出すくらいセリフや歌や踊りも覚え、楽しんで取り組んでくれました。

当日は少し緊張していた子どもたちでしたが、一人ひとり精一杯の力で頑張っていました。



＊△＊☘＊△＊☘＊△＊ ＊ ばらぐみさんになる準備 ＊

ゆりぐみも残すところわずかになってきました。こどもたちは、ばらぐみになることをとても楽しみにしています。ばらぐみになると午睡がなくなりお昼からも活動することになります。そこで少しずつばらぐみの生活に体をのリズムを鳴らすために午睡時間を短くしていきます。ご家庭でも早めに就寝し、しっかりと睡眠時間をとれるよう調節して下さい。



みんなで遊ぼう！

最近ルールのある遊びが子どもたちの間でブームになっています。中でもお気に入りには中当てや、こおりおに、フルーツバスケットです。

中当ては体操教室で教えてもらい、それ以来ゆりぐみの子どもたちの中では『あたらあかんゲーム』と面白い愛称をつけて友だちや保育者を誘ってみんなで楽しんでいます。フルーツバスケットをすると、オニさん役になった子は次のお題を考えますが、子どもたちならではのユニークなお題もでて、大盛り上がりです。色々なルールを覚えてみんなで楽しんでいます。



個人懇談では、子どもたちの家庭や園での姿をゆっくりとお話できた良い機会になりました。今年度も残り僅かですがよろしく願い致します。



ばらぐみだより

2023年度 旭丘まぶね保育園

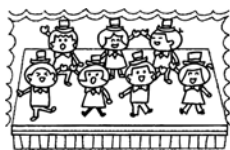


☆ミュージカル 『ふくろうのそめものや』☆

子どもたちに『ふくろうのそめものや』の絵本を読むと、とても集中して話を聞き、「またふくろうの絵本読んで〜！」と、子どもたちの好きな絵本の一つになりました。発表会であることを伝えると大喜びの子どもたち。「今日もふくろうの劇したい！」と練習にも意欲的に取り組んでいます。

散歩に行った時に鳥を見かけると、「〇〇くんたちの鳥かな〜?」「カラスチームのカラスおる！」と、練習を思い出し、友だちと会話を弾ませていました。

本番まであと少し！練習を重ねるにつれ自信がついてきたようで、セリフも大きな声で言えるようになってきました。子どもたちの堂々と演じる姿を、楽しみにしておいてください。



*❄️ 冬っておもしろい！



先日戸外で遊んでいると、玩具のカップに溜まった水が凍っているのを発見しました。「なんで!」「すごい!」と子どもたちは驚いた様子で、氷に触れていました。「氷作れるかやってみよう」と子どもから声が上がったので、実験してみることに…。どこの場所が寒いか、どこに置いたら氷ができるか話し合い、水を張った桶や牛乳パックを様々な場所に置くことにしました。翌日みんなで見に行ってみると、園庭と砂場に置いていた水が氷に変身していました。グラウンドに置いていた水は、残念ながら凍っていませんでしたが、桶で大きな氷ができたのでみんな大喜びでした。

子どもたちの「やってみよう」という思いを大切にしながら、日々の保育や季節ならではの遊びを楽しんでいきたいと思います。



今、夢中なものは・・・

最近の子どもたちのお気に入りの遊びは、お絵描きです。自由遊びの時間になると、「先生お絵描きしてもいい?」と嬉しそうな表情で尋ねてき、のびのびとお絵描きを楽しんでいます。またひらがなにも少しずつ興味を持ち、お友だちの名前や好きな食べ物の名前を書く姿も見られます。

戸外ではバナナ鬼という鬼ごっこに夢中です。ルールは氷鬼と同じで、タッチをされたお友だちは両手を頭の上で合わせ、バナナポーズをして固まります。

様々なルールを理解できるようになってきて、友だちと相談しながら遊びを展開しています。友だちとの関わりの中で、トラブルになることもありますが、保育者が仲立ちに入ることで、自分たちで解決できるようになってきました。



新しいチームが決まりました!

チームが新しくなりました。今までは担任が決め発表していましたが、今回はサントイッチゲームで決めました。

(6種類のイラストが描かれた紙を子どもたちに1枚ずつ配り、せーので見て、同じイラストのお友だちが集まるゲーム)

子どもたちはゲームを楽しみつつ、誰と同じチームになるかドキドキした様子でした。新しいチームのお友だちが揃うと、「やったー!」「同じチームやな!」と喜び合う子どもたち。ばらぐみ最後のチームということもあり、チーム名も子どもたちが話し合って決めました。

ばらぐみでの生活もあと少しになりましたが、思いを伝え合いながら友だちとの関わりを深められるように、グループ活動をたくさん取り入れていきたいと思っています。





ほしぐみだより

旭丘まぶね保育園



子どもたちは戸外に出ると寒さに負けず、鬼ごっこや縄跳びをして元気いっぱい遊んでいます。外から戻ると進んで手洗い・うがいをするようになり、手洗い・うがいの習慣が身についてきました。

卒園式まで、あと少し！一日一日を大切に、体調に充分気をつけながら、今月も楽しく過ごしたいと思います。



発表会

ミュージカル"アラジンと魔法のランプ"では、初めて歌を聞いた時からすぐに覚え、当日までクラスみんなで楽しみながら練習することが出来ました。「アラジンやりたい!!」「魔法使いがいいな」「宝石もキラキラしてて楽しそう!」と色々な役に興味を持っていた子どもたち。練習が始まると、始めは恥ずかしそうにしている子もいましたが、少しずつ台詞を覚えていくうちに自信を持って表現できるようになりました。練習期間、お休みの友だちがいる時には「〇〇の役できるで!」とみんなで支え合いながら練習する姿や、友だちの様子を見て「がんばれ!!」と励ましたり友だちを思いやる姿も見られ嬉しく感じました。

合奏は、"風になりたい"の曲に挑戦しました。今年は子どもたちと一緒に楽器を決め、練習もやる気満々で取り組んでいました。リズムの早いアップテンポの曲でしたが、「てんーごくじゃーなくてもー」とロズさお程、大好きな一曲になりました。

当日は少し緊張している様子の子もたちでしたが、練習してきたことを一生懸命発揮し元気いっぱい自信を持って表現している姿に成長を感じました。



お店屋さんごっこ

ごっこ遊びが大好きなほしぐみさん。子どもたちの「お店屋さんしたい!」という一言から、お店屋さんあそびをすることにしました。

それぞれ、チームでやってみたいお店を話し合い、「クレーンゲームやさん」「だがしやさん」「アイスクリームやさん」「パンやさん」「焼き肉やさん」をすることに決めました。

お店屋さんをする中で、必要なものや何を作るかなど、チームのお友だちや先生と一緒に話し合いました。少しずつイメージがまとまってくると「作るの楽しみー」「みんなで作ったら楽しそう!」など、どんな風に作ろうかとワクワクしている子どもたちです♪

次はいよいよ物作りを始めます。どんなお店屋さんが出来上がるのか今から楽しみです!



《子どもたちの好きな遊び》

最近ほしぐみでは"氷鬼"が流行っています。少しずつルールを覚えて、みんなで楽しめるようになってきました。始めは逃げることに必死だった子どもたちですが、何度も繰り返し遊んでいくうちに、逃げながら氷になっている友だちをタッチして助けてあげる子や、鬼の動きをよく見ながら隙を狙って助けてあげる子など、色々な技を身に付けて楽しんでいます。

また、鬼になった友だち同士で作戦を考え、挟みうちでタッチしてみたり、「守る人」・「タッチする人」に分かれ役割を分担するなど、遊び方も変わってきました。

ルールのある遊びを通して、ルールを守りながらみんなで遊ぶ楽しさを伝えていきたいと思っています。

